

2.1 農学専攻

1. 専攻の概要

農学専攻は、農作物および園芸作物の生態系と調和した効率的・安定的な生産と品質向上の基礎として、環境と関連した作物の生理生態的特性の究明、遺伝変異の探索と遺伝解析、耕地環境の持続的な制御と維持に関わる技術の追求、食料・飼料としての品質の評価・設計などに関する研究と教育を行っている。4基幹講座8分野（作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、品質設計開発学、品質評価学）および1協力講座（植物生産管理学）で構成され、附属農場、フィールド科学教育研究センター紀伊大島実験所などの関連施設とも連携しながら教育・研究にあたっている。

2. 学生数

大学院修士課程1回生	31 名
大学院修士課程2回生	41 名
大学院博士課程	19 名

3. 平成22年度（2010年度）の経過

平成22年4月1日現在、教員数は31名（生産管理学分野7名を含む）である。学生数は、修士課程72名、博士課程19名で、うち留学生は9名である。また、過去1年間に外国人共同研究者2名、研究生3名が在籍した。本年度より修士課程の入門的科目として、農学特別講義が開講された。

平成22年3月31日に作物科学講座育種学分野の谷坂隆俊教授が退職した。また、平成22年4月1日に品質科学講座品質設計開発学分野に裏出令子教授が、平成22年8月1日に作物科学講座育種学分野に奥本裕教授が就任した。